

宮城県感染症発生動向調査情報(第3週)

宮城県【平成26年01月23日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2014.1.13 ~ 1.19 ・ 第3週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第52週	第1週	第2週	第3週
水痘	4 0.80	9 0.90	7 1.40	1 0.50		7 1.40	3 1.50	22 0.85	53 0.91	207	◎ →	◎ →	◎ →	◎
流行性耳下腺炎	1 0.20	3 0.30			2 0.67	1 0.20	2 1.00	3 0.12	12 0.21	45	レ →	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	69 13.80	139 13.90	40 8.00	38 19.00	37 12.33	43 8.60	16 8.00	390 15.00	772 13.31	1,840	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病								2 0.08	2 0.03	6	→	→	→	
伝染性紅斑	1 0.20	11 1.10				2 0.40		29 1.12	43 0.74	99	○ →	レ →	○ →	○
突発性発しん	1 0.20	4 0.40	2 0.40	2 1.00	2 0.67	4 0.80	2 1.00	15 0.58	32 0.55	74	レ →	→	○ →	○
ヘルパンギーナ											→	→	→	
インフルエンザ	69 8.63	21 1.40	87 10.88	13 4.33	31 6.20	95 11.88	34 8.50	201 4.79	551 5.92	858	○ →	○ →	◎ →	◎
咽頭結膜熱	1 0.20	1 0.10		2 1.00				4 0.15	8 0.14	27	→	→	→	
流行性角結膜炎											→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21 4.20	20 2.00	11 2.20	8 4.00	2 0.67	28 5.60		48 1.85	138 2.38	281	◎ →	レ →	○ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00				3 3.00	1 0.20	5 0.42	17	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	1 0.20	2 0.20	1 0.20	4 2.00		2 0.40		20 0.77	30 0.52	77	○ →	レ →	○ →	○
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		3		1		4	2	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病							1	《週報の詳細》宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/					
	不明発疹症							1						
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※										1				

※

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
2類感染症: 結核
仙南管内 男性1名(第1週)
塩釜管内 男性1名
登米管内 男性1名
気仙沼管内 男性1名
3類感染症: 報告なし
4類感染症: 報告なし
5類感染症: アメーバ赤痢
仙台管内 男性1名
侵襲性肺炎球菌感染症
仙台管内 女性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 5例

今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[インフルエンザ]
大崎、石巻管内で注意報値を超えた。

[感染性胃腸炎]
登米管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

- ～宮城県保健環境センター～
インフルエンザ集団発生事例より
塩釜管内 第3週採取分 インフルエンザウイルスB 遺伝子 1件
大崎管内 第3週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm 遺伝子 1件
インフルエンザ患者より
気仙沼管内 第2週採取分 インフルエンザウイルスAH3 遺伝子 2件
第3週採取分 インフルエンザウイルスAH3 遺伝子 3件
大崎管内 第3週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm 遺伝子 1件
感染性胃腸炎集団発生事例より
石巻管内 第3週採取分 ノロウイルスGII 1件
登米管内 第3週採取分 ノロウイルスGII 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第1週採取分 (12.30～1.5)	第2週採取分 (1.6～1.12)	第3週採取分 (1.13～1.19)
インフルエンザウイルス(解析中)	0件	1件	0件
RSウイルス	0件	0件	3件

[インフルエンザ]

大崎、石巻管内で患者報告数が注意報値(1定点当り10人)を超えたため、県は本日「インフルエンザ注意報」を発令しました。他に、仙南、気仙沼管内でも多く、県全体でも倍増しました。また、学校等における臨時休業も報告されており、今後流行が急速に拡大する可能性があるので、十分な注意が必要です。
インフルエンザの予防・対策等は下記HPを参照、活用ください。

- 厚生労働省 インフルエンザQ&A
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>
- インフルエンザ予防チラシ
<http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/86901.pdf>
- インフルエンザ様疾患による学校の措置状況地図
<http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/flumap/public>

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	年齢群	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	総数 (人)
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
2013年 第51週		21.7	21.7	30.4	0.0	4.3	0.0	13.0	0.0	0.0	4.3	4.3	23
第52週		28.6	50.0	3.6	0.0	0.0	3.6	10.7	0.0	3.6	0.0	0.0	28
2014年 第1週		7.8	15.6	15.6	7.8	10.9	17.2	12.5	9.4	3.1	0.0	0.0	64
第2週		20.2	21.0	14.4	6.2	7.8	12.3	7.8	4.5	2.5	2.5	0.8	243
第3週		22.7	28.7	13.6	3.6	5.6	9.6	7.3	5.1	2.4	1.3	0.2	551

インフルエンザ定点
インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第52週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(5.87)、長崎県(5.31)、高知県(4.96)である。入院サーベイランスにおける報告数は79例と前週と比較して増加した。**RSウイルス感染症**: 報告数は3,623例と2週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約72%を占めている。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は埼玉県(21.34)、茨城県(20.96)、東京都(20.88)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(4.67)、北海道(3.38)、新潟県(3.15)である。**水痘**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は新潟県(4.48)、福井県(3.95)、岩手県(3.45)である。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福島県(1.86)、宮城県(0.92)、青森県(0.83)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 減少した。都道府県別では13都道府県から25例報告があった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。
()内の数字は定点当たり報告数となります。